南城市立佐敷中学校（数学科　シラバス）

１．目標

数学的な見方･考え方を働かせ，数学的活動を通して、数学的に考える資質･能力を次の通り育成することを目指す。

(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理･法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現･処理したりする技能を身につけるようにする。

(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見いだし統合的･発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔･明瞭･的確に表現する力を養う。

(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価･改善しようとする態度を養う。

２．評価の方法

※5 段階評価（５・４・３・２・１）／観点別評価（ABC）をもとに、１～５の評価を算出します。

	主体的に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
内容	･数学への意欲。発表、授業態度、話し合いの様子、提出物など。	・数や文字式、図形の性質に気づき、それを活用して考えたり、説明、表現することができる。	・数学の用語や解き方、図形の性質を理解し、使うことができるか。
評価方法	○全ての提出物 ・宿題　　・ノート ・ワーク （あかねこｽｷﾙ/数学の基本ﾉｰﾄ） ・誤答レポート　・ファイル ・自己評価カード ○授業態度	・小テスト＆単元テスト ・定期テスト（１００点）×３回分 （実力テストも含みます）×１回分 ・市や県の学力調査	
評価規準	・Ａ・・・十分満足（８０%以上） ・Ｂ・・・おおむね満足（４５%～８０%未満） ・Ｃ・・・努力が必要（４５%未満）		

３．授業計画

月＼学年	1 学年	2 学年	3 学年
4 月	１．正負の数	１．式の計算	１．多項式
5 月			
6 月		２．連立方程式	２．平方根
	２．文字と式		
7 月			３．2 次方程式
9 月	３．方程式	３．1 次関数	
			４．関数ｙ＝ａx^2
10 月	４．比例と反比例	４．平行と合同	
11 月			５．相似な図形
	５．平面図形	５．三角形と四角形	
12 月			６．円
	６．空間図形		
1 月		６．確率	７．三平方の定理
2 月	７．データの分析と活用	７．データの比較	８．標本調査
3 月	1 年間の復習	1 年間の復習	高校入試対策

４．授業の進め方

(1)学習用具をきちんとそろえる。
(2)授業の課題を確認し，めあてを理解して授業に参加する。
(3)先生が説明するときは、しっかりと聞く。
(4)他の生徒が発言するときは、発表内容に意識を向けてしっかり聞く。
(5)問題を解くときは、じっくり考えて取り組む。
(6)ペア/グループ活動では，相手に分かるように説明し，相手の説明を理解するまで聞く。
(7)日々の学習に努める。
・積極的に発表したり、進んで質問したりしよう。
・問題文をしっかり読んでから取り組もう。
・わからなくてもすぐにあきらめず、できるところまでやってみよう。
・わかったことは繰り返し復習して確実に身につけるようにしよう。

５．授業で使うもの

○教科書　○授業ノート(A4)　○問題集　○ファイル(A4)　○ものさし(定規)　○のり
○筆記用具(鉛筆かシャーペン・消しゴム・赤ペン・蛍光ペン)
※定規セット・コンパス(必要なときに準備する)
※教科書、授業ノートは必ず持ち帰る。

６．その他

(1)ノートは、下記の「ノートのまとめ方」にしたがい、丁寧にまとめる。
・毎回左側の新しいページからかき始める。(見開きで使用する)
・授業回数、めあて、学習日、授業のまとめを記入する。
・例題のなかで、ポイントや考え方をメモする。
・途中式を必ず書く
・＝ をそろえてかく
・訂正できるようにスペースを考えて書く。
・間違いは消さず、赤ペンで書き加えて、原因をメモする。
・分数は２行使って書く。
・自分や友達の考えを記入する。

①（ａ＋7）－（５ａ－3）
＝（ａ＋7）＋（－５ａ＋3）
＝ａ＋7－５ａ＋3
＝ａ－５ａ＋7＋3
＝－５ａ＋１０✕

＝－４ａ＋１０ ◎

ａの係数は０ではなく１なので、（１－５）ａで－４ａとなる。

(2)提出物はきちんとまとめて、期限までに提出する。
内容が不十分なものや期限が過ぎたものは、減点されたり、評価の対象にならなかったりすることもあります。

(3)週末課題について
・毎週金曜日の家庭学習は、「あかねこ数学スキル」を１～2 ページずつやる。
（土日は、家庭学習ノートに他の教科をやりましょう。）
・月曜日の朝、各教室前のテーブルに提出する。(あかねこスキルと家庭学習ノートを両方提出)